

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

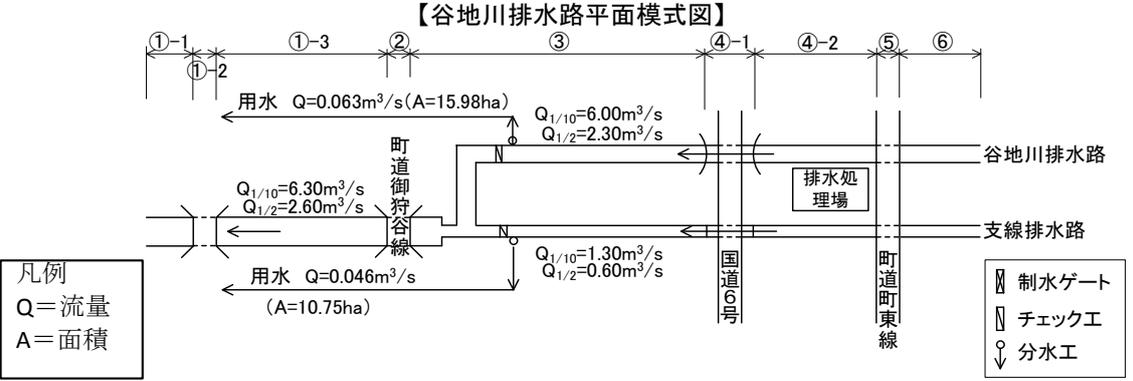
事業番号	★ D 15 - 2 - 1	細要素事業名	谷地川排水路改修事業
------	----------------	--------	------------

【事業概要】
 当町における新市街地の一つとして、新坂元駅周辺に新たな市街地を形成し、既存集落や施設と一体となったまちづくりを進める。
 今回申請する谷地川排水路は、新市街地の南側に位置し、これまで大雨時に度々越水していたが、周辺が農地として利用されていたことから、農地の整備基準における湛水機能により、一時的に貯水することで対応してきたところである。今回この農地に新市街地を整備することで、これまでのように越水分を農地に湛水することが出来なくなる。
 排水については、水路施設管理者との協議により、従前にあった大雨時の農地の湛水（貯水）機能が喪失し、新市街地周辺の道路等が冠水してしまうなど問題が生じると懸念されることから、新市街地周辺の排水効率を高める対策を講じる必要がある。

【基幹事業との関連性】
 新坂元駅周辺地区は、「災害公営住宅整備事業」及び「津波復興拠点整備事業」の2事業により、既存集落と一体となる津波復興拠点施設の整備を進めるところであり、津波被害を受けない安全な土地利用を行うため、従前農地であった土地を盛土し造成している。
 本事業の谷地川排水路においては、津波復興拠点施設と隣接する排水路であり、大雨時の越水により、新たに整備される居住地周辺や既存集落にも冠水被害の恐れがあるため、本事業により排水機能を向上されることができれば、津波復興拠点施設としての機能向上にも寄与されることから、整備事業の効果を促進することに繋がる。

【事業スケジュール】
平成27年10月～平成28年3月 工事【今回申請分】
 ※新坂元駅周辺市街地整備事業（津波復興拠点整備事業並びに災害公営住宅整備事業）が完了する平成27年度末まで
【事業内容（施設補修・改修計画一覧表）】
 詳細実測資料に基づき、設計流量 $Q=6.00\sim 6.30\text{m}^3/\text{s}$ （1/10年確立雨量、排水量）を確保できるかどうかを検証し、既存水路構造の問題点を整理し、最適な水路断面と基礎工法を下記のとおり選定した。

区間番号	延長(m)	補修・改修計画	補修方法・改修断面	備考
①-1	20.00	既設利用(通水能力あり)	-	
①-2	8.00	改修(断面不足)	二次製品BOX.C(B2000×H1700)	
①-3	125.27	既設利用(通水能力あり)	-	
②	7.10	改修(断面不足)	二次製品BOX.C(B2000×H1700)	町道御狩谷線
③	32.10	改修(減勢能力不足)	跳水型落差工設置、それに伴う附帯工改修	
④-1	26.90	補修(摩擦損失低減)	粗度係数 $n=0.011$ 相当の材料で表面被覆	国道6号横断
④-2	85.32	補修(摩擦損失低減)	粗度係数 $n=0.011$ 相当の材料で表面被覆 土羽部の張コンクリート	
⑤	8.00	改修(断面不足)	二次製品BOX.C(B2300×H1600)	町道町東線
⑥	55.85	補修(摩擦損失低減)	粗度係数 $n=0.011$ 相当の材料で表面被覆	



この様式は、原則として、参考様式第29及び参考様式第32の別添3に記載した細要素事業ごとに作成してください。
 ※「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分の事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。
 ※細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。